

静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第22回地質構造・水資源部会専門部会

2025年10月29日

静岡県

今後の主な対話項目【トンネル発生土編】

主な対話項目28項目中、発生土置き場関連は全5項目

※灰字: 対話完了項目 **青字**: これまでの対話項目
青字下線: 今回、引き続きの対話

主な対話項目

(1) 土石流、地すべり、深層崩壊等の大規模な土砂移動、濁水の流出、細かい粒子の底質への堆積などを想定し、生態系全体や景観への影響を考慮した対策

※ 仮に、発生土を有効活用する場合は、その活用案に応じた対策を追加で検討する必要がある。

(2) 全ての発生土置き場についての詳細な計画(立地、設計、モニタリング等)

(3) リスク管理の手法とリスク対策(リスクマトリクス、リスクマップを使用)

(4) ツバクロ発生土置き場について、以下の点を踏まえた、影響の予測・評価及びその対応

※対話完了

(ア)広域的な複合リスク(土石流の同時多発の可能性等)

(イ)対岸の河岸侵食による斜面崩壊の発生リスク

(ウ)土石流の緩衝地帯としての機能低下

(エ)予測のシミュレーション条件

(オ)ツバクロ発生土置き場の断層(推定)の影響

(5) 自然由来の重金属等を含む要対策土の処理

※(1)(2)(3)について、通常土に関しては対話完了

議題1 オンサイト処理

【対話項目(5)】

- ・自然由来の重金属等を含む要対策土の処理

事務局説明内容

【対話項目の背景】

- 令和7年8月 第21回地質構造・水資源部会専門部会
 - ・JR東海が要対策土の処理方法について説明した。

<委員等意見>

- ・要対策土の総量を減らすことにも繋がるので、ヒ素の無害化が重要。
- ・オンサイト処理の検討を詳細にお願いしたい。

【本日の対話内容】

- 委員等意見を踏まえ、JR東海がオンサイト処理(無害化)に必要な設備等について検討したので、内容を確認する。

3

議題2 藤島発生土置き場における盛土の生活環境保全措置

【対話項目(2)】

- ・発生土置き場についての詳細な計画(立地・設計)

事務局説明内容

【対話項目の背景】

- 令和7年8月 第21回地質構造・水資源部会専門部会
 - ・JR東海が二重遮水シートによる封じ込め処理について説明した。

<委員等意見>

- ・藤島発生土置き場の直下に断層が存在した場合、要対策土への生活環境保全措置へ影響があるため、断層の有無を確認する必要がある。
- ・要対策土の遮水工については、科学的な安全性という観点だけでなく、心理的な安全性についても考慮していただきたい。
- ・劣化の心配の無い自然の粘土や、破れた際に自己修復機能が働く天然素材での遮水工の導入も検討いただきたい。

【本日の対話内容】

- 委員等意見を踏まえ、JR東海が藤島発生土置き場における盛土の生活環境保全措置について再検討した内容や、設計に関するより具体的な説明を行うので、その内容を確認する。

4